

Let's Timberize! in 九州

TIMBERIZE EXHIBITION

木の新しい可能性を探る

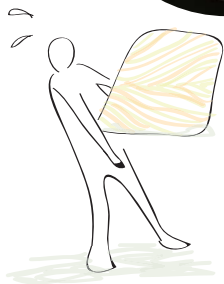
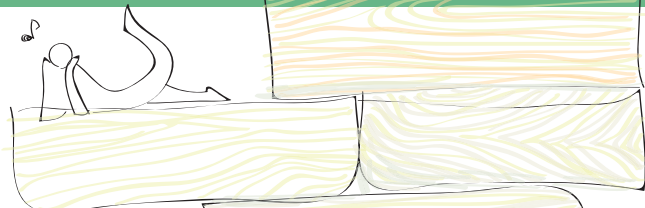
木と子ども



木でつくる遊び場

生活スタイルの変化や新素材の開発などの影響で、身近な生活用品においても木材利用が激減しています。また、日曜大工や木工といった木を使った趣味を持つ人口も減少、高齢化しており、木に触れる機会は減少の一途を辿っていると言えます。

一方、日本において過剰に蓄積した木材を適切に使って行くことは、森林の保全だけでなく、地球温暖化の防止、大気・水・土壌などの環境の維持に貢献することに繋がります。市民レベルで木に対する親しみや木の文化に対する理解を深めて行くためには、子供のころから木に触れる機会を増やし、木を通じて日本の文化や社会が抱える問題を理解して行くことが重要であると考えています。今回の展示では、単に木に触れる場を用意し、体験していただくだけでなく、木とじっくり向き合うための木工ワークショップも用意しています。



Design Build Fukuoka

Design Build FUKUOKA は、建築家を目指す学生及び U29 の社会人を対象とした、設計から施行までを行う実践型教育プログラムです。「自分たちでデザインしたものを、自分たちの手によって施行する」ことを目的としています。Design Build FUKUOKA 初めての作品となった、大橋の幼稚園の横に作った「子どもの絵本館」の制作の様子を今回会場に展示します。



子どもワークショップ

日時：2012年11月25日(日)
10:00~16:00

■スギコダマワークショップ

講師：有馬晋平 (造形作家)

大分県在住の造形作家、有馬晋平氏による「スギコダマ」は良質の杉材を丹念に削り、磨き込んだ杉のオブジェ。その柔らかなフォルム、美しい木目、匂いやすべすべの触り心地は改めて杉の魅力を再発見させてくれます。そんな杉の魅力を自分自身で制作体験してみませんか？

■森の宝物づくり

講師：森信行 (森商事 代表取締役)

天草を本拠地にする森商事では製材・木製家具の製造を中心に事業展開しています。その一方で、木の持つやさしさや、温かさを伝えて行くための活動として「森の宝物づくり」という木工活動を行っています。粗仕上げをした、木製のティースプーン・スプーン・フォーク・バターナイフ・お箸・ペーパーナイフ・オブジェなどをペーパーで磨いて仕上げてゆきます。自分だけの道具を自分自身で作ってみませんか？

木を使って 一緒にモノをつくろう!!

【お問合せ先】

Let's Timberize! in 九州 実行委員会
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大学院人間環境学府 未廣研究室内
Tel / 092-642-3351
Mail / timberizeQ@yahoo.co.jp

NPO 法人 team Timberize
〒160-0014 東京都新宿区内藤町
1-7-303 (KUS 一級建築士事務所内)
tel / 03-5369-4090
e-mail / info@timberize.com
URL / <http://www.timberize.com>

<http://arch.tec.fukuoka-u.ac.jp/timberize/>

アイランドシティ
中央公園
ぐりんぐりん

813-0017
福岡県福岡市東区
香椎照葉 4-26-7

092-661-5980

○天神郵便局前バス停より
都庁高速「アイランドシティ」経由「アイランドシティ中央公園前」バス停

○博多バスターミナル1Fより
「照葉小中学校前」行き「アイランドシティ中央公園前」バス停



Let's Timberize! in 九州

TIMBERIZE EXHIBITION

木の新しい可能性を探る

九州は針葉樹の木材生産における国内最大の拠点でもあり、特に杉材においては全国TOP 5に3県が入るほどの杉王国と言えます。杉と人との新しい関係を発掘して行くために、九州各地で杉の新しい活用に取り組んでいます。今回の展示では、建築的な用途のみならず、家具や食器などの家庭用品などのプロダクツを始め、杉に関わる新しい取り組みをご紹介します。

ス

ギ

日田屋形屋台

(日田商工会議所)

大分県における木材生産の拠点の中心とも言える日田市では、地場産木材、特に杉材を使ったまちづくりに取り組んでいます。今回は日田の風物詩である屋形船をイメージした杉の屋台「日田屋形屋台」を展示し、日田のまちづくりの中での木材活用の在り方をご紹介します。



宮崎県杉インフィル+県産品

宮崎県は21年連続、杉丸太の出荷量が全国1位。温暖で育ちがよく、管理の行き届いた山林も多いので、直径の大きな大径材のように他県ではなかなか入手しにくい材料が手に入りやすいという特徴を持っています。そんな宮崎の杉材の魅力をご覧ください。



obisugi design / SUGIFT

(日南鉄肥杉デザイン会)

「obisugi design / SUGIFT」は宮崎県日南市で取り組んでいる地場産杉材(鉄肥杉)を使った商品化プロジェクト。自治体と地場産業、企業、デザイナーのコラボレーションによる杉商品を通じ、鉄肥杉を含めた地域の魅力を発信し続けています。(obisugi design は、2010年度グッドデザイン・日本商工会議所会頭賞を受賞しました。)



杉モノデザイン展

(杉のクラフト製品)

九州では数多くの木工クラフト作家が活躍しており、九州の杉材を使った様々な製品、作品を生み出しています。今回、「杉」の魅力を再発見できるような良質な製品をご紹介します。

ケ

の屋台村

アイランドシティ中央公園ぐりんぐりん

2012.11.17 [SAT] ▶ 2012.11.25 [SUN]

開館時間 / 9:00 ~ 16:30 <11/20(火)は休館日> 入場料 / 無料 会場 / アイランドシティ中央公園ぐりんぐりん

主催 / Let's Timberize! in 九州 実行委員会 共催 / NPO法人 team Timberize ・ 日本全国スギダラケ倶楽部

後援 / 福岡県・福岡市・日本建築学会九州支部・日本建築家協会九州支部 お問い合わせ先 / <http://arch.tech.fukuoka-u.ac.jp/timberize/>

●提案展示講評会 日時 / 2012年11月18日(日) 12:00 ~ 14:00

●シンポジウム『木の新しい可能性』 日時 / 2012年11月18日(日) 14:00 ~ 16:00 パネリスト / 腰原幹雄 (東京大学生産技術研究所) 若杉浩一 (日本全国スギダラケ倶楽部) ・ 山下保博 (建築家・アトリエ天工人) ・ 末廣香織 (司会 / 九州大学・NKS architects)

●イベント 『子どもワークショップ』 日時 / 2012年11月25日(日) 10:00 ~ 16:00 材料費 ¥500

